

市政記者各位

令和3年6月15日

福岡市博物館は、企画展示「戦争とわたしたちの暮らし」をオンライン開催します。

昭和20年(1945)6月19日、福岡は空襲により大きな被害を受けました。6月19日に向け、オンライン企画展示「戦争とわたしたちの暮らし」として、博物館の公式 Twitter を通して戦時期の福岡の暮らしに関する新たな博物館資料の公開を行います。是非周知していただくとともに、取材いただきますようご案内いたします。

福岡大空襲とは？

昭和20年(1945)6月19日深夜から未明にかけて、アメリカ軍の長距離爆撃機 B-29 が福岡地方に飛来し、大量の焼夷弾を投下しました。福岡市の中心部は焼け野原となり、特に博多部は甚大な被害を受けました。

博物館では平成3年からこれまで、この6月19日を含む日程で、毎回テーマを変えて企画展示「戦争とわたしたちの暮らし」を開催しています。

6月15日(火)から博物館公式 Twitter にて初公開！米軍兵士が撮影した終戦後の福岡

令和3年6月19日は緊急事態宣言実施中であり、企画展示室は閉室しています。そこで、**6月15日(火)から**、博物館公式 Twitter において、令和2年度に博物館が新たに収集した空襲の被害が残る市街地や、大量の資材が放置された軍需工場の写真を公開していきます(1日1~2カット)。戦後の福岡を撮影した貴重な写真に注目です。



大濠公園・福岡城の空撮写真

博物館公式 Twitter @fukuokaC_museum

参考 企画展示「戦争とわたしたちの暮らし 30」

現在、新型コロナウイルス感染症による緊急事態措置を受け、企画展示室を閉室しています。今後、企画展示室を開室した際は、下記のとおり「戦争とわたしたちの暮らし 30」(会期は令和3年9月5日までの予定)を開催します。上記の写真のパネルに加え、**陶製アイロン**や**竹製ヘルメット**、**錫製のお金**など戦時期にまつわる約**60点**の館蔵資料を展示し、戦時期の「モノ不足」を紹介します。展示の解説については**6月15日**より博物館公式ウェブサイトでご覧いただけます。

(1) 場 所：福岡市博物館 2階 企画展示室 1

(2) 料 金：一般 200 円、高大生 150 円、中学生以下無料

※常設展示室・企画展示室共通

■お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課 松村・野島

電話 092-845-5011 FAX 845-5019 〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1